

令和6年10月3日

大豆におけるハスモンヨトウ・カメムシの防除について

J A む な か た
北筑前普及指導センター

現在、福岡県にハスモンヨトウ発生の注意報が出ています。

大豆の9月5半旬調査においてハスモンヨトウ多発ほ場が見られています。今後も本虫の発生に好適な気象条件が続くと予想されるため、被害拡大が懸念されます。

福岡県下および管内でも多発ほ場が確認されていますので、ほ場での発生状況に注意し幼虫を多く確認したら、早急に防除を行ってください。

また、カメムシについても多発ほ場が確認されていますので、ほ場での発生状況に応じてハスモンヨトウとの同時防除を行ってください。

【注意】※今後、防除薬剤を購入される方へ

購入を予定されている方は、下記の表を参考にアドバイザーまたはグリーンセンターに相談してください。

【ハスモンヨトウ】

《老齢幼虫》



《若齢幼虫》



【ミナミアオカメムシ】

《成虫》



《幼虫》



防除薬剤

対象	薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数
ハスモン ヨトウ	プレオ フロアブル	1,000～ 2,000 倍	収穫 7 日前まで	2 回以内
	プロフレア SC	2,000～ 4,000 倍	収穫前日まで	3 回以内
	グレーシア 乳剤	2,000～ 3,000 倍	収穫 1 4 日前まで	2 回以内
カメムシ	スタークル 液剤 10	1,000 倍	収穫 7 日前まで	2 回以内

※老齢幼虫になると、薬剤が効きにくくなります。

また、先に散布した薬剤と異なる薬剤を使用したほうが、効果が期待できます。

※防除を行う際は、必ず使用回数を確認して薬剤を選んでください。